

先天性トキソプラズマ症

トキソプラズマは、なかなか耳にすることのない言葉ですが、知っていますか？
トキソプラズマは、妊婦さんにとって注意する必要がある原虫（ヒトに寄生する微生物）です。

トキソプラズマ症は、トキソプラズマという原虫によって引き起こされる感染症です。健康な人が感染しても多くは無症状で経過します。しかし、**妊婦さんがトキソプラズマに初めて感染した場合**、トキソプラズマが胎盤を通過して、おなかの中の赤ちゃんに感染するおそれがあります。これが**先天性トキソプラズマ症**で、主な症状は水頭症や視力障がいなどです。

トキソプラズマは、ヒトを含む温血動物に広く感染します。ネコ科の動物は、トキソプラズマの宿主（微生物が寄生する相手の生物）として知られていて、トキソプラズマ症の主な感染源と考えられています。



ちなみに

妊婦さんが感染しやすいのは、なぜ…??

妊娠していると細菌に感染しやすいといいますが、どうしてなのでしょう…？
それは、**妊娠による免疫の変化**が大きく関係しています。細菌への免疫には、大きく分けて**液性免疫**と**細胞性免疫**という2種類の免疫メカニズムがあります。妊婦さんは、免疫機能のうち液性免疫は通常と変わらず働きます。しかし、**細胞性免疫は妊娠を維持するためパワーダウン**するとされているので、感染しやすかったり、症状が出やすかったりと、健康な人より注意が必要なのです。

トキソプラズマから赤ちゃんを守るために

生や加熱不十分なお肉を食べないようにしましょう。

トキソプラズマは、お肉の中に含まれていることがあります。そのため、**妊娠中やその可能性がある人は、お肉を生で食べないようにしましょう**。また、お肉を調理するときは、**中心部まで十分に加熱**してお肉の中のトキソプラズマをやっつけましょう。



飼いネコの外飼いはやめましょう。

トキソプラズマは**最終的にネコに感染**します。ネコがトキソプラズマに初めて感染したとき、オーシスト（トキソプラズマの卵のようなもの）がネコの糞とともに一定期間排出されます。まずネコが感染しないために室内飼いのネコを外に出さないようにしましょう。また、**ネコの糞を24時間以内に処理**することにより、感染力のあるオーシストと接触する危険を回避できます。妊娠したからといって、飼っているネコを手放す必要はありませんが、**ネコの外飼いはやめましょう**。

土いじりや飲み水に注意しましょう。

ネコが畑や庭で糞をする可能性があります。土をいじる作業中は**手袋などを着用**し、**作業後は十分な手洗い**をしましょう。オーシストには、塩素系漂白剤やエタノールなどの多くの消毒剤が効かないため、きちんとした手洗いでオーシストを洗い流すことが重要です。

